

ほっぷ・ステップ・Jump!

(保っ父) 1996.3.12 Vol.23 発行:北海道の子どもと保父の会

巻頭言

ある日、もうすぐ6才になる娘が、「あのね、Nちゃんって、クルクルパーなんだよ」といいました。Nちゃんは、同じ保育園に通う4才児で、ダウン症児です。

子どもたちの中でそんな会話をしていたのでしょうか。それとも娘がそう思ったんでしょうか。「どうしてそういうことを言うの？」ときくと、「だってしゃべっても何を言ってるかわかんないし…」、言い終わるか終わらないうちに、頭にカーッと血がのぼった私は、クルクルパーとはどういうことなのかとか、しゃべれないのは病気のせいかもしれないのにそんなことを言うのはおかしいとか、まくし立てるように言い、娘は私の興奮した姿に、口をつぐんでしまいました。

娘の通っている保育園に不満があるわけではないのですが、せっかく障害児がいるのにふれ合う機会のない横割り保育や枠にはめさせるような管理保育、子どもの評価に対する視点のズレなど、いろいろな事を考えさせられる2年間で、その結果がこれか…と、淋しい気持ちになったのは事実でした。だからといって全てが保育園の責任なのか、というとそんな事はなく、今後の子育ての新たな課題にしていかななくてはならないと、考えさせられる出来事でした。

「子どもが安心して保育園で過ごせるには？」「集中してあそびに取り組めるにはどうしていったらいいか？」「意欲を育てる保育とは？」など、いろいろな課題を考えていく時に、保育環境を整えることは、今ここで記す必要のないくらい重要なことと言えます。具体的にはどんなあそびを提供するのかとか、どういうデイリーをつくるとか、保育者の役割をどうするかとか、いろんなことを考えるものです。しかし、保育者自身（言い換えれば大人自身）も環境のひとつだと考えなければいけないと思います。ちょっとした言葉や態度、人間関係の善し悪しが子どもに与える影響は、計り知れないものがあるのではないのでしょうか。

年度末の会議で、色々な反省をするこの時期、人のことを言い合うと大変なことになるので、自分自身を省みて、新年度にむけてまた、心機一転頑張っていきたいですね（まいどまいどのらんぶんしつれいします・・・）。

会 長 桑原 一司

【総会報告】

2月11～12日、8名というさびしい人数ではありましたが、ニセコひらふのペンションペンギン村にて、総会が行われました。議案は、事前に書面で提案したものです。主な話題は、今後の活動と会費のあり方、そして参加意志のはっきりしない会員についての2点でした。

会の設立当初、講師を迎えて勉強会や調査活動をしたり、全国集会参加者へ補助を行うなど、いろいろな活動ができ、且つ無理なく集められる額として、三千円が決められました。しかし、ここ数年の会の流れからいって、講師を迎えたり、調査等の活動はできない（一部への負担が大きい）し、会員の要求も少ない。慶弔金も会として必要ではない。今後活動の中で、必要な経費はその都度徴収する様にし、最低限必要な額（千円）をしっかりと徴収していこうという方向に決まりました。

また、名簿に入っているけれども、会に参加する意志のない方には、はがきアンケートでその意向をはっきりさせ、4月をめどに名簿を整理し、会費の徴収人数を明確にすることもあわせて決まりました。

今後の活動は次の通りです。

〈例 会〉

毎月第2土曜日午後7時より幌北中央保育園で行います。内容としては、近況報告のみにとどまらず、もちまわりでテーマを決めて話し合ったり、制度改革（エンゼルプラン）の勉強会等も取り入れていきたいと考えています。しかし、単なる勉強会で終わることなく、自分たちの身近な問題や壮大な夢を語り合えるものにしたいですね。

又、札幌以外での開催は、今夏実施に向けて、計画を立てていきたいと思っていますので、ご意見よろしくおねがいします。

〈機関紙〉

奇数月月上旬発行に向けて、事務局を中心に、幌北中央で実務を行います。手伝える方は是非ご一緒にやりましょう！

〈企 画〉

全国集会をやり遂げた実績（？）をもとに、今年度は一步前へ踏み出したいと思っています。例えば、保父の会主催で『父と子のあそび紹介』の集会を行うとか・・・。

〈事務局の体制〉

次の12名で事務局を構成します。

会 長：桑原

事 務 局：（キャップ）三村、（サブ）西村、船戸、大森、遠藤、浅利、
細谷、桂田、高井

会 計：畠山

会計監査：小田

※会の運営については、会長、事務局長、サブの3名が連絡をとって、進めていきたいと考えていますので、ご意見があれば、その3名にお願いします。

次は会計報告ですが、その前にひと休み・・・・・・・・・・



さてと・・・
 〈会計報告〉

年度	月	日	摘要	収入金額	支出金額	差引残高
6			繰越金	18,426		18,426
			事務費		1,657	16,769
			例会会場費4,8,11,12月		5,700	11,069
			機関紙郵送費(5回)		6,490	4,579
			会費	3,000		7,579
			決算利息	10		7,589
7	2	12	決算利息	7		7,596
	3	10	例会会場費		1,250	6,346
	6	30	全国集会余剰金	142,380		148,726
	7	17	弔電		580	148,146
	8	13	決算利息	7		148,153
	9	22	機関紙郵送費		1,000	147,153
8	1	19	機関紙郵送費		3,120	144,033
		26	会費	39,000		183,033
		31	会費	5,000		188,033
		31	機関紙郵送費		1,600	186,433
	2	1	機関紙郵送費		2,160	184,273
		2	会費	3,000		187,273
		6	会費	3,000		190,273
		11	決算利息	4		190,277
		12	総会補助		17,371	172,906
		12	結婚祝い金(3名)		15,000	157,906
		15	事務費		1,450	156,456
		22	会費	3,000		159,456



風に吹かれて

保父修行物語 23 光星はとポップ保育園 船戸 敬悦

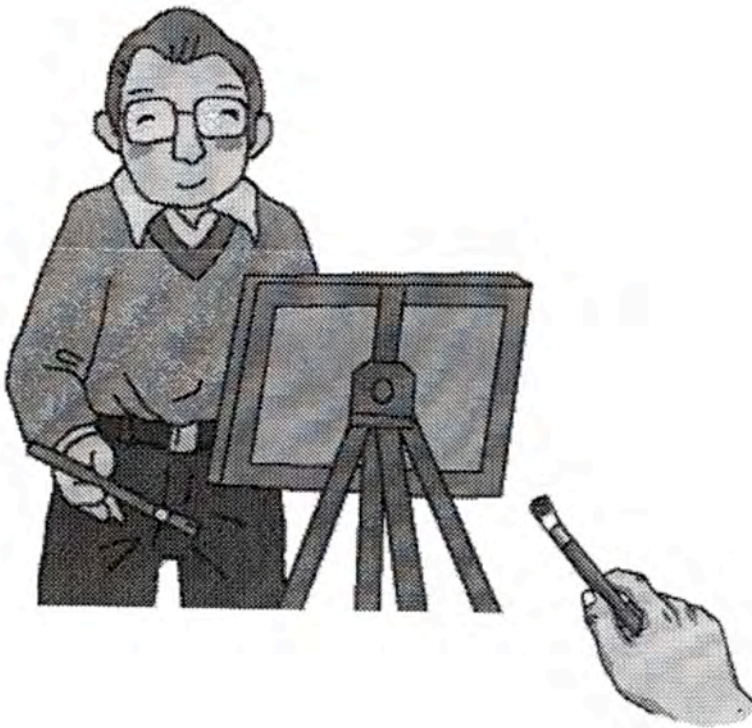
弥生三月、春の訪れとともに井の頭公園の桜の木々も、今か今かと芽吹きはじめていたのだった。私はガランとしたアパートの部屋の中に立っていた。もうすでに東京を出ることを決めていた。大阪から始まって十年目の年だった。井の頭保育園では様々なことを学んだ。でも、やはり自分のおもう体あたりの保育は出来なかった。これからどうするのか、まだなにも決めていなかったが、ただ子ども達と接する仕事をさがそうと思っていた。

リュックサックを背負い、片手にスケッチブックを抱えて、私は東京を出た。西をめざして歩いていた。納得いくまで考えたい、これからの自分の生き方をじっくりと考えたかった。そんな旅の始まりだった。足の向くまま気の向くまま、伝説の地を訪れ、昔から語り伝わる昔話を採集して、背景の絵をスケッチして歩くという毎日が続いた。

山を描き、海を描き、川に遊ぶ子ども達を描き、自然を描いていくうちに、いつか忘れていた、自分の原風景を思い出していた。

私は自分の心の中で、ホッとする安堵感を感じていたのだった。

以下Vol.24へ続く



会計より連絡事項

・平成7年度までの会費未納の方が、あと15名います。今月中の振込をお願いします。

・平成8年度会費（1,000円）は、5月より受け付けしますので、振込又は手渡しでお願いします。

振込口座は下記の講座へどうぞ

・次回例会は4月13日（土）19時より幌北中央保育園にて行います。

多数の参加をお願いします。

※尚、平成8年3月までに結婚・出産された方に、祝金（又はアルバム）を会則にしたがって贈呈しますので、事務局までお知らせください。

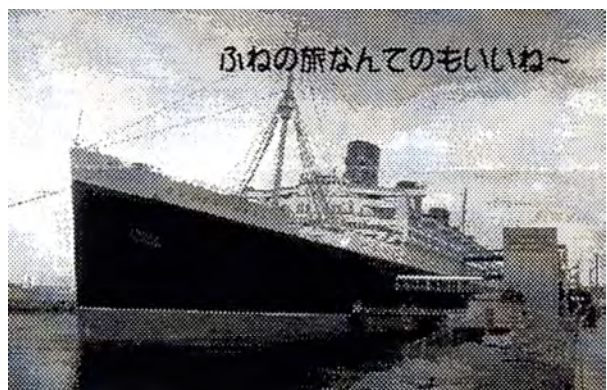
事務局より

今回の新聞作成から事務作業が本格的に幌北中央に移行した様です。

（まるで他人事・・・事務局談）

皆様のご意見・ご要望・文句・美辞麗句・近況報告・親バカ写真・趣味・エッセイ・研究発表・女の口説き方、男の騙し方・・・etcがございましたら、なんでも投稿して下さい。Floppy投稿なら助かります。（ワープロの機種は問いません）

Machintoshなら最高です。



事務局

〒001 札幌市北区北20条西3丁目19番地

幌北中央保育園内

電話011-716-1842